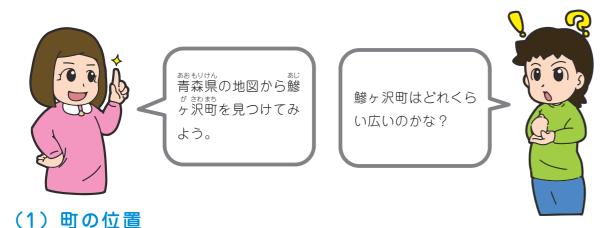
第1章

町のすがた

# ・町の位置と広さ



鰺ヶ沢町は青森県の中では西側に位置しています。日本海から白神山地のふもとまでつながる、南北に細長い町です。町のまわりは青森県の4つの市町村、秋田県の2つの町に囲まれています。

青森県の三方を囲む海のうち、西に広がるのが日本海です。鰺ヶ沢町は北に日本海、南に白神山地がある東西約22km、南北約40kmの町です。市街地は海に沿って形成されています。一方、山側では、赤石川や中村川、鳴沢川の川沿いにおよそ40の集落があります。また、西となりは深浦町、東はつがる市・弘前市・西目屋村。白神山地をはさんだ南側で秋田県の八峰町・藤里町ととなりあっています。

青森県の西側に位置し、日本海に面する町。それが鰺ヶ沢町です。

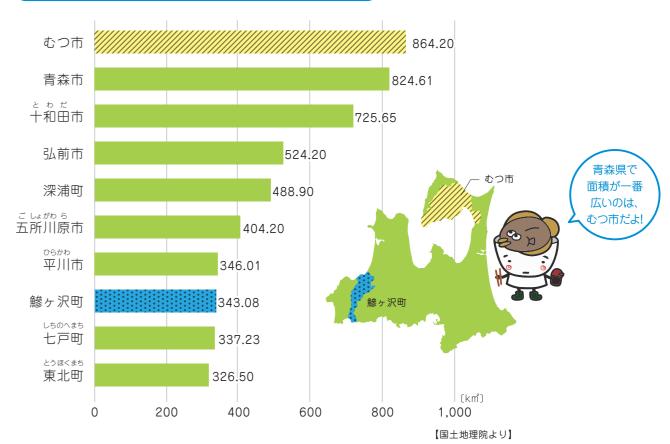


### (2) 町の広さ

鰺ヶ沢町は、日本海から岩木山や白神山地のふもとまで達する広い町です。2021 (令和3)年の発表によれば、鰺ヶ沢町の面積は343.08k㎡です。これは青森県内40市町村の中で八番目の広さです。町の「固定資産概要調書」によると、面積のうち約63%にあたる216k㎡が山林です。山林とは山や森、野原のことです。たとえば、赤石川や中村川の山間部、白神の山々も山林に含まれます。

青森県で八番目の広さをもつ鰺ヶ沢町。その多くは、豊かな自然に満ちています。

#### 青森県の市町村面積トップ10(2021年10月1日現在)



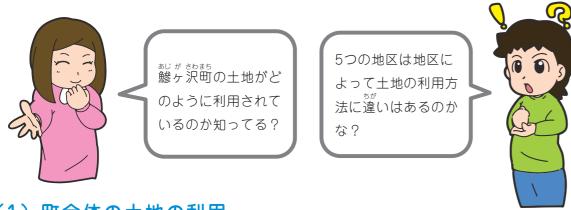
### 町の広さを言えるようになりましょう

鰺ヶ沢町が青森県のどこにあるか、わかったかな? 鰺ヶ沢町 は青森県の中では西側にあるんだね。北は日本海に面し、南には 白神の山々。青森県の4市町村と秋田県の2つの町ととなりあう、ほんとうに広い町なんだ。



鰺ヶ沢町の広さは343.08k㎡! その広大な土地は、多くが山や森、野原などの山林がしめているんだ。鰺ヶ沢町は青森県で八番目の広さをもつ、自然が豊かな町なんだね。

# 町の土地の利用



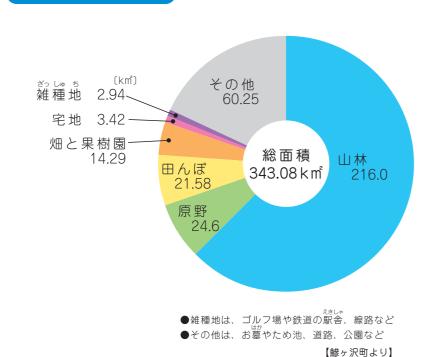
### (1) 町全体の土地の利用

土地は、かぎりある資源です。また、そこに住む人々の生活や産業活動などの共通の 土台でもあります。鰺ヶ沢町では、どのように土地を利用しているのか、見ていきまし ょう。

鰺ヶ沢町は青森県内でも、とても広い土地のある町です。2021(令和3)年の発 表によると、鰺ヶ沢町は全体の約63%が山林です。次に広いのが原野です。原野とは、 わかりやすく言うと野原のことです。三番目に広いのが田んぼです。そしてりんごなど の果樹園や畑、住宅地の順に広いのです。

鰺ヶ沢町は山林と原野の割合が約70%あり、自然が豊かです。その一方で住宅地の 利用は約1%と少ないのが特徴です。また、田んぼと畑、果樹園など、町全体の10% 以上を農地として利用しています。

#### 土地の利用(2021年)









# (2) 地区別の土地の利用

鰺ヶ沢町は昔の町村の名残で、5つの地区に分けられます。鰺ヶ沢漁港のある鰺ヶ沢 地区。鰺ケ沢駅がある舞戸地区。赤石川が流れる赤石地区。鰺ヶ沢町から岩木山方面へ いたる中村地区。鳴沢川が流れる鳴沢地区。この5つの地区では、どのように土地を 利用しているのでしょうか。

5つの地区の中で農地面積が一番せまいのは鰺ヶ沢地区です。鰺ヶ沢地区には、田ん ぼも畑もほとんどありません。舞戸地区も、農地がせまい地区です。この2つの地区は 鰺ヶ沢町の中心地にあたり、お店や住宅などの面積が広いためです。それに対して、 農地面積が一番広いのが鳴沢地区です。鳴沢地区は、5地区の中で畑と果樹園が最も 広く、田んぼの広さも二番目です。果樹園はほとんどが鳴沢地区に集中しています。一方、 赤石地区は田んぼの面積が一番です。しかし、畑は少ししかありません。中村地区は、 田んぼは三番目、畑は二番目に広い地区です。

このように、5つの地区では、それぞれ土地の利用のしかたに特色があります。

#### 地区別経営耕地面積(2020年)

427

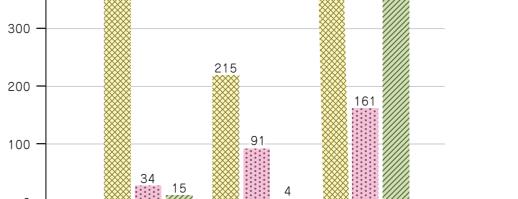
(ha)

400





///// 果樹地



中村地区

鳴沢地区

【鰺ヶ沢町より】



## 地区別の土地利用の違いを覚えましょう

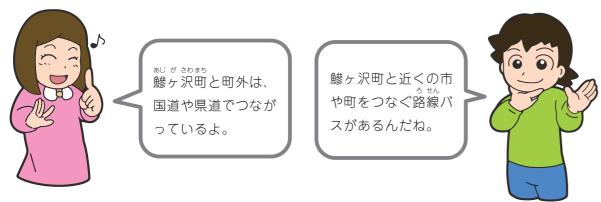
赤石地区

鰺ヶ沢町は土地の約63%が山や森、野原などの自然なんだ。 田んぼや畑、りんごなどの果樹園の面積は町全体のおよそ10%。 でも、どこも同じように利用しているわけではないんだよ。鰺ヶ 沢地区や舞戸地区には田んぼや畑がほとんどない。赤石地区と中

村地区は田んぼの面積は広いけど畑の面積はせまく、果樹園はほとんどない。鳴 沢地区は、田んぼも畑も、そして果樹園も広いんだ。

第1章 町のすがた 2. 町の土地の利用

# 3. 町と町外をつなぐ道路とバス



### (1) 町と町外をつなぐ道路

鰺ヶ沢町と町外をつなぐ道路には、国道と県道があります。中でも重要な道路が国道 101号です。この道路は、つがる市や五所川原市を通って、青森市まで続きます。しかし、混雑したり、冬は地吹雪が起こりやすいなどの問題もあります。そこで、津軽自



動車道・鰺ヶ沢道路が計画され、2016(平成28)年7月30日に開通しました。 津軽自動車道や国道101号のほかに、県道もあります。県道の多くは、弘前市をつな ぐ道路です。県道3号弘前岳鰺ヶ沢線は、中村地区を通り、弘前市へ。また、県道31 号弘前鰺ヶ沢線も鳴沢地区を通り、弘前市をつなぎます。こうして、鰺ヶ沢町はとなり あう市町村と国道101号や県道などの道路でつながっています。

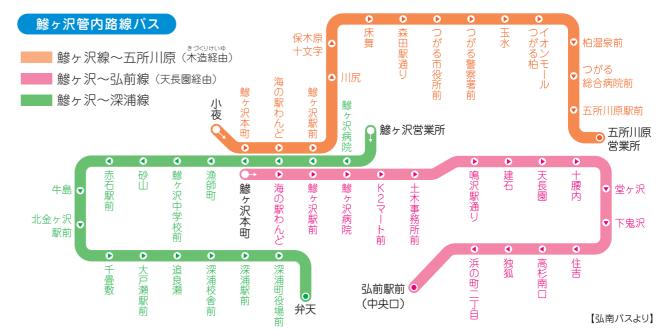
道路は、人が移動したり、物を運んだりするために使います。私たちの生活に道路は、とても大切な道なのです。

### (2) 町と町外をつなぐ路線バス

鰺ヶ沢町と町外を行き来するのは、自家用車だけではありません。鰺ヶ沢町には、2022(令和4)年現在、町外をつなぐ3コースの路線バスがあります。

路線バスとは、決まった順路を決まった時間に運行するバスのことです。通勤、通学、通院、買い物など、毎日の生活を支える大切な乗り物です。鰺ヶ沢町と近くの市や町をつなぐ路線の一つが鰺ヶ沢〜五所川原線です。順路は鰺ヶ沢町小夜から弘南バス五所川原営業所まで。途中、本町や鰺ケ沢駅前などを通ります。所要時間は季節や交通量で変わりますが、およそ1時間30分です。二つ目が鰺ヶ沢〜弘前線です。順路は鰺ヶ沢本町から弘前駅前まで。途中、鰺ケ沢駅前や鰺ヶ沢病院、鳴沢駅通りなどを通ります。所要時間は、およそ1時間30分です。三つ目が鰺ヶ沢〜深浦線です。順路は弘南バス鰺ヶ沢営業所から深浦町弁天まで。所要時間は、およそ1時間15分です。

このように、鰺ヶ沢町から近くの市や町へ、路線バスが運行しています。自家用車が なくても町外へ行くことができる路線バスは、町民の生活の足ともいえます。



# 000

### バス停の場所を調べてみましょう

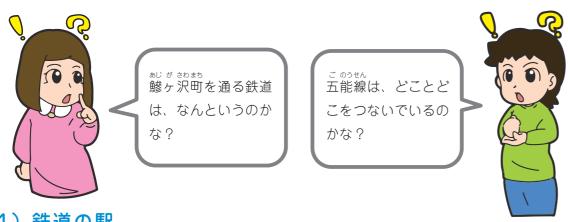
鰺ヶ沢町と近くの市町村をつなぐ道路は国道や県道があるんだね。道路は、人が移動したり、物を運んだりするために欠かせないものなんだ。より通りやすい道路をつくることは、鰺ヶ沢町はもちろん、周辺地域にとっても大事なことなんだよ。



自家用車のほかに便利なのが路線バスなんだ。鰺ヶ沢町から近くの市や町へ行くには3つの路線があるんだね。鰺ヶ沢町内のどこにバス停があるか、知っているかな? バス停の場所を調べてみよう。

10 第1章 町のすがた 3. 町と町外をつなぐ道路とバス

# 4. 町と町外をつなぐ鉄道



### (1) 鉄道の駅

だった。 鰺ヶ沢町には鳴沢駅、鰺ケ沢駅、陸奥赤石駅と3つの駅があります。

3つの駅のうち、2つの駅が1925(大正14)年5月15日に開業しました。鰺ケ沢駅と鳴沢駅です。陸奥赤石駅は、4年後の1929(昭和4)年11月26日に開業しました。いまある駅舎になったのは、鰺ケ沢駅が1991(平成3)年、鳴沢駅と陸奥赤石駅が2012(平成24)年です。3つの駅の中で、駅係員がいる駅は鰺ケ沢駅ただ1つで、鳴沢駅と陸奥赤石駅は、無人駅です。

駅は、通学や通勤、観光などの交通手段として大切な役割を果たします。2019 (令和元) 年時点で、鰺ケ沢駅から1日に約254人、年間で約9万2千人が乗車しました。新型コロナウイルス感染症が拡大した2020年(令和2)年の1日の利用者数は約169人、年間で約6万2千人に減少しました。





### (2) 鉄道でつながる町

鉄道は、毎日たくさんの人や物を目的地まで運びます。鉄道の路線にはそれぞれ名前があり、鰺ヶ沢町を通る鉄道は「五能線」といいます。

五能線は田舎館村の川部駅と秋田県 の 能代市の東能代駅をつなぎます。五能 線の駅は全部で43の駅があり、全長 は147.2kmです。

鰺ヶ沢町から鉄道を使った時、いいますが のの市町村を通るでしょう。鰺ヶ沢は所田のから川部駅までは、ではたやなぎまが、一般の市では、でいたやなぎまが、一般の市町村のの市町村が五のがでいたのでで、大き町では、3 線が、1 ののでは、3 線が、1 ののでは、4 を さいます。 こことができます。

このように、鉄道は、鰺ヶ沢町をより多く、より遠くの市町村とつなぎます。

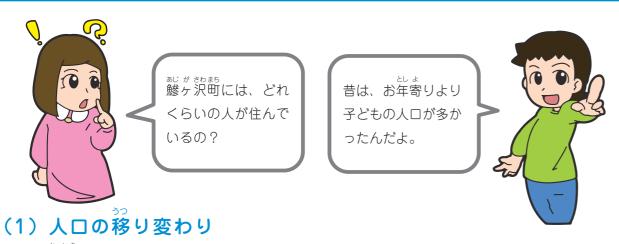


### 駅がいくつあるか調べてみましょう

鰺ヶ沢町を通る鉄道路線を「五能線」というんだね。この路線が、町と9つの市町村をつないでいるんだ。

五能線は日本海、田園地帯、りんご園と、区間で異なる風景が 見られる路線なんだ。鰺ヶ沢町内の3駅を含めて、五能線の駅は全部で43駅。 鰺ヶ沢駅から川部駅まで、どんな駅を、いくつ通るかな。また、鰺ヶ沢駅から東能代駅まではどうだろう? JR東日本のホームページや地図で調べてみよう。

# 5. 町に住む人の数



その地域に住んでいる人の数を人口といいます。昔の鰺ヶ沢町には、どれくらいの人が住んでいたのでしょうか。また、いまの鰺ヶ沢町には、どれくらいの人が住んでいるのでしょう。

いまの鰺ヶ沢町ができた1955 (昭和30) 年から、2020 (令和2) 年までの人口の変化を見てみましょう。鰺ヶ沢町ができた年の人口は、23,026人でした。それから15年後の1970 (昭和45) 年には人口が2万人を切りました。そして、2020 (令和2) 年には1万人を切って、9,044人となりました。

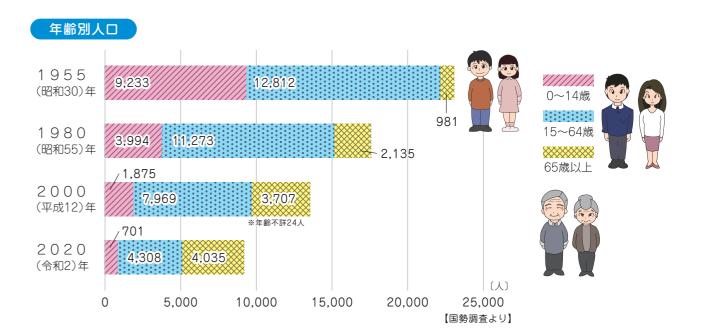
このように、鰺ヶ沢町の人口の変化をあらわしたのが下のグラフです。町の人口は、今の鰺ヶ沢町ができた1955(昭和30)年から65年間で、約14,000人減少しました。

#### 人口の移り変わり



### (2) 年齢別人口の移り変わり

いまの鰺ヶ沢町ができた1955 (昭和30) 年から現在までを比べると、町に住む人の年齢別の割合はどのように変化しているでしょうか。下のグラフを見ると、1955 (昭和30) 年は、0~14歳と15~64歳までの人口が多く、14歳以下の人口は約40%をしめています。それに対し、65歳以上は4%とわずかです。45年後の2000 (平成12) 年には、14歳以下の人口の割合が約13.8%に減り、65歳以上のお年寄りが約27.4%と、お年寄りの割合が多くなりました。それからさらに20年後の2020 (令和2) 年になると、14歳以下の人口が約7.8%まで減少しました。



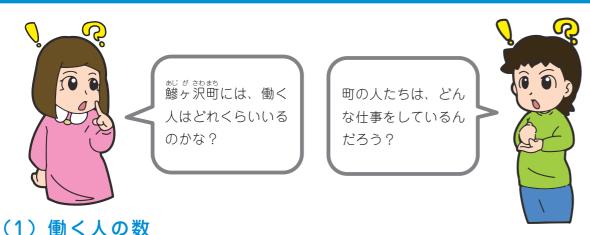
#### ♥/ ● 町の人口と年齢別人口の移り変わりを覚えましょう

いまの鰺ヶ沢町ができた1955(昭和30)年から現在までの、町に住む人の数や年齢別人口の移り変わりについて、わかったかな?

1955 (昭和30) 年には、鰺ヶ沢町に約23,000人も住んでいたんだね。それが65年間で約14,000人減ったんだ。人口を年齢別に見ると、年々、14歳以下の子どもが少なくなっているね。それに対して、65歳以上のお年寄りはだんだん多くなっているんだ。

鰺ヶ沢町に住む人をもっと増やすには、どうしたらいいんだろう? お友達や 家族みんなと話しあってみよう。

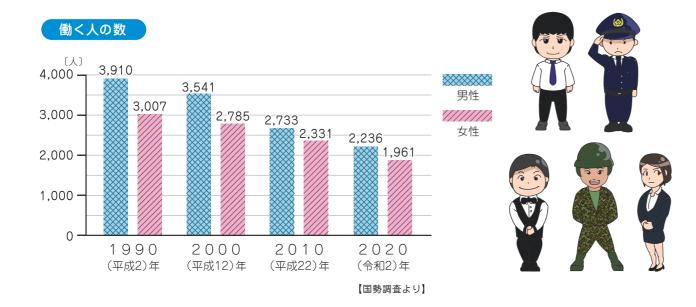
# 6. 町に住む人の仕事



仕事にもよりますが、働く世代の中心は「おとな」です。鰺ヶ沢町の人口は減少し、 おとなの割合も少なくなりました。では、働く人の数は、どう変わったでしょうか。

鰺ヶ沢町に住んでいて、町内で働く人。鰺ヶ沢町に住んでいて、町外へ行って働く人。この2つをあわせた働く人は、1990 (平成2)年には、約6,920人いました。それが、10年後の2000 (平成12)年には約6,330人。2020 (令和2)年では約4,200人。30年間で約2,560人少なくなりました。さらに、もっと細かく見てみましょう。1990 (平成2)年では働く男の人は約57.9%、働く女の人は44.5%です。それから30年後の2020 (令和2)年には、男の人は約53.3%、女の人は46.7%と、働く女の人も多くなりました。

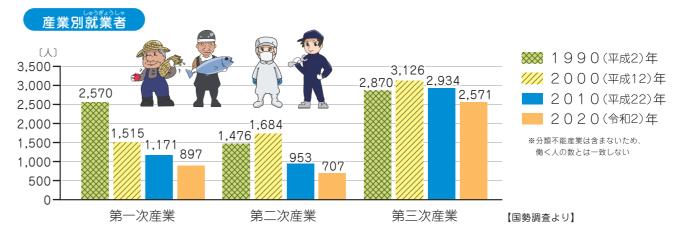
人口が減少したことで、働く人の数も減ってしまいました。そうした中で、働く女の人の割合が高まり、近年では、働く男の人と女の人の数が同じくらいになってきています。



### (2) 仕事内容の変化

鰺ヶ沢町の人たちは、どんな仕事をしているのでしょうか。産業別に見てみましょう。 産業とは、わかりやすくいえば、人の生活を支えるものをつくることです。そのうち、農業や漁業、林業など、自然に直に働きかけるものを第一次産業といいます。第一次産業でできたものを使って、ものをつくるのが第二次産業です。たとえば、建物を建てたり、商品をつくったりする仕事のことです。第三次産業は、第一次・第二次産業でできたものを利用します。たとえば、スーパーやレストラン、ホテルなどです。お年寄りのお世話をしたり、けがや病気を治す仕事も第三次産業です。

鰺ヶ沢町では、第一次産業で働く人が、どんどん少なくなっています。その一方で、第三次産業で働く人は増えたり減ったりしています。さらに細かく分けると、鰺ヶ沢町では、昔から働く人の数が一番多いのは農業です。しかし、1990(平成2)年には2,258人いましたが、2020(令和2)年では787人。この30年間で、農業を仕事にする人は約65%減りました。



### ■ 仕事内容の移り変わりを覚えましょう

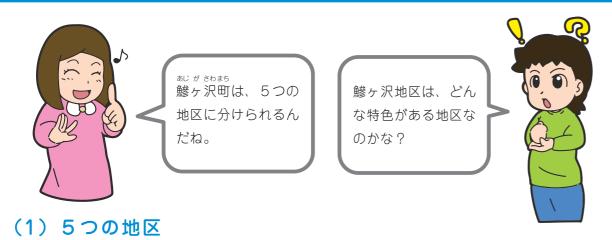
人口が減ると、働く人の数も減ってしまいます。鰺ヶ沢町では30年の間に約2,560人も少なくなったんだよ。昔は働く人は男の人が多かったけど、いまは男の人も女の人も同じくらいになってきているね。

中でも、鰺ヶ沢町では、第一次産業で働く人が、とても少なくなっているんだ。 1990(平成2)年に2,570人だったのが、30年の間に897人まで減ってしまったんだよ。第二次産業も、30年間で働く人が少なくなったね。第三次産業はどうかな。1990(平成2)年以降、増えたり減ったりしているよ。

家族や近所の人はどんな仕事をしてるかな? その仕事は第一次産業かな? 第二次産業かな? それとも第三次産業? 仕事の内容の移り変わりを覚えてお こうね。

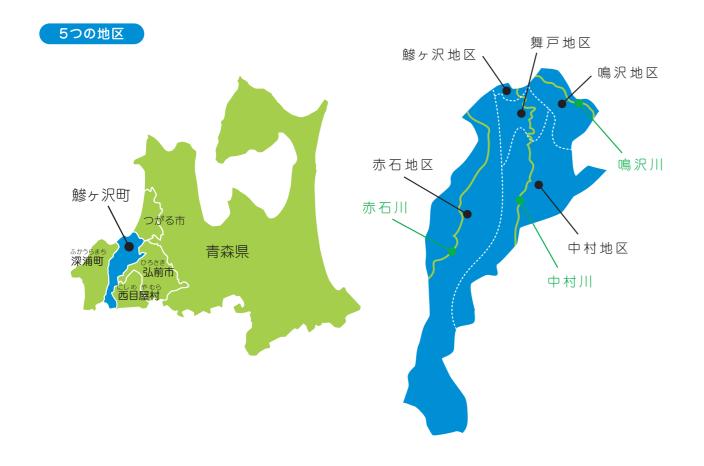
**16** 第1章 町のすがた 6. 町に住む人の仕事

# 7.5つの地区と鰺ヶ沢地区の特色



鰺ヶ沢町には、日本海があり、山があり、田園風景があります。それぞれの特色を知るために、鰺ヶ沢町をもっと細かく分けて見てみましょう。

いまの鰺ヶ沢町ができたのは1955(昭和30)年です。それ以前は、5つの町村に分かれていました。鰺ヶ沢町、舞戸村、赤石村、中村、鳴沢村です。この5つの町村は、それぞれの地形があり、歴史も異なります。鰺ヶ沢町には、この5つの町村が地区として残っています。漁業の中心地区。商業活動が活発な地区。自然が多い地区。のどかな山里の地区。田んぼや畑が多い地区。歴史や地形など、それぞれの地区の特色を詳しく見ていきましょう。



### (2) 鰺ヶ沢地区の特色

鰺ヶ沢地区は、赤石川と中村川の間にある、海に面した地区です。昔の鰺ヶ沢町を中心にした地区で、古いお寺や神社がたくさんあります。この地区には、2つの大きな特色があります。

大きな特色の一つは、公共的な仕事をする機関の多くがこの地区にあることです。鰺ヶ沢地区には、警察署や簡易裁判所、青森県の出先機関があります。こうした公共的な機関を行政機関といいます。また、2つの銀行や郵便局も鰺ヶ沢地区にあります。2017(平成29)年までは鰺ヶ沢消防署が、2021(令和3)年4月までは、鰺ヶ沢町役場もありました。

もう一つの特色は、漁港があることです。漁港は、魚介類の水あげに、なくてはならない施設です。この地区にある鰺ヶ沢漁港は、全国各地の漁船が利用できるよう整備されています。また、水産物を消費地に出荷する流通の基地でもあります。こうしたことから、鰺ヶ沢地区には新鮮な魚介類がたくさん集まります。そのため、鰺ヶ沢地区には水産物に関わる会社や「海の駅わんど」があります。また、漁港の近くの「はまなす公園」は、夏になると多くの海水浴客でにぎわいます。

鰺ヶ沢地区は行政機関や銀行などが集まっている地区です。そして漁業の中心地です。



天童山から見た漁港



はまなす公園 (鯵ヶ沢海水浴場)



### 鰺ヶ沢地区の特色を覚えましょう

いまの鰺ヶ沢町は、5つの町村が集まってできた町なんだね。 その5つの町村の名前は、地区としていまも残っているんだ。 それぞれの地区の特色がわかると、鰺ヶ沢町のことをもっ と深く知ることができるね。



鰺ヶ沢地区には、警察署や簡易裁判所などの行政機関や銀行、郵便局が集まっているんだよ。そして、鰺ヶ沢漁港がある、漁業の中心地なんだ。覚えておこうね。

# 8. 舞戸地区と赤石地区の特色



舞戸地区は、どんな 特色がある地区なん だろう? 赤石地区は、自然が 豊かで、古い歴史が ある地区なんだよ!



### (1) 舞戸地区の特色

舞戸地区は、中村川をはさんで鰺ヶ沢地区ととなりあっています。中村川の東側にある地区です。

舞戸地区には鰺ケ沢駅があります。駅前にはショッピングセンターや小売店などのお店があります。1989(平成元)年に、西北地域県民局鰺ヶ沢庁舎から鰺ヶ沢病院へ向かう国道101号バイパスが開通し、バイパス沿いに大きなお店が増えました。また、宿泊施設もあります。

さまざまなお店がある便利な地区には、多くの人が住みます。舞戸地区は、5つの地区の中で最も住宅が多い地区です。鰺ヶ沢病院のほか、多くの個人病院も舞戸地区に集まっています。また、2017(平成29)年6月、鰺ヶ沢地区にあった鰺ヶ沢消防署が舞戸地区に移転しました。それから4年後の2021(令和3)年5月には、鰺ヶ沢町役場も消防署のとなりに移転しました。

舞戸地区は、昔から続くお店から大型のスーパーマーケットまで、さまざまなお店が ある町の商業の中心地です。また、津軽自動車道・鯵ヶ沢道路が開通したことで、青森 市や五所川原市方面から町を訪れる人たちの玄関口になりました。



鰺ケ沢町役場



鰺ヶ沢病院

#### (2) 赤石地区の特色

赤石地区は、5つの地区の中で最も面積が広い地区です。白神山地のふもとから赤石川に沿って広がる赤石地区は、自然が豊かです。地区の集落は、川沿いに形成されています。白神山地の豊かな山々が赤石川の源です。山の栄養分たっぷりの水は、稲作やアユとサケの増殖、イトウの養殖にも使われています。さらには日本海へと注ぎます。このように、一つの地区に山、川、海があります。

豊かな自然は、訪れる人を楽しませてくれます。白神の森 遊山道や自然観察館ハロー白神、くろくまの滝があるのも赤石地区です。アユやヤマメ、イワナなどが多く生息する赤石川は、多くの釣り客に親しまれています。また、海岸沿いに立ち並ぶお店には、焼きイカや新鮮な魚介類を求め、多くの人が訪れます。

赤石地区のもう一つの大きな特色は、古い歴史です。赤石地区には、かつてお城がありました。種里城です。城跡には「光信公の館」があり、さまざまな資料が展示されています。また、大浦光信のお墓や、名所・史跡も残っています。

赤石地区は、豊かな自然と古い歴史ある地区といえます。



赤石地区の焼きイカ通り



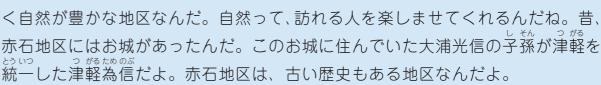
白神山地



## 舞戸地区と赤石地区の特色を覚えましょう

鰺ケ沢駅がある地区が、舞戸地区だよ。この地区には昔から商店が多かったんだ。いまは大きなお店も増えて、にぎわっているよ。舞戸地区は商業の中心地なんだね。鰺ヶ沢消防署や町役場も舞戸地区に移設されたことで、町の行政の中心地にもなったんだ。

赤石地区は、白神山地のふもとから赤石川に沿って、海まで続



20 第1章 町のすがた 8. 舞戸地区と赤石地区の特色

# 9. 中村地区と鳴沢地区の特色



鳴沢地区は、田んぼ、畑、果樹園の面積が 5地区の中で一番広いんだよ。



### (1) 中村地区の特色

中村地区は自然が豊かで、森林や田んぼ、畑が広がっています。昔は林業が盛んで、大大ででくりも行われていました。中村地区の長平町には、岩木山を登る登山道の入口があります。この登山道は、弘前市の岩木山神社へお参りに行く時などに利用されてきました。しかし、道路の整備などにより、近年はこの登山道を利用する人が少なくなり、草木が生いしげっていました。長平町内会の人たちは、この登山道を昔のように利用してもらおうと、2017(平成29)年から整備を行っています。

棚田が見られるのも、中村地区ならではです。棚田とは、山や谷間に階段状につくった田んぼのことです。岩木山のふもとに何重にも連なる棚田の景色は、ほのぼのとした美しさです。

中村地区には、なだらかな自然の地形をそのまま利用したスキー場やゴルフ場があります。高原にあるので、晴れた日には津軽平野や日本海を見わたすことができます。また、キャンプを楽しめる鰺ヶ沢キャンピングパーク・長平青少年旅行村もあります。中村地区は、登山やキャンプ、スポーツが楽しめる地区でもあります。



棚田の風景



長平町のオオヤマザクラの桜並木

#### (2) 鳴沢地区の特色

鳴沢地区は、鰺ヶ沢町の北東に位置します。つがる市や弘前市ととなりあい、町の玄関 口といえます。鳴沢地区の集落も、地区を流れる鳴沢川沿いに形成されています。

鳴沢地区は、農地面積の広さが5つの地区の中で一番。鰺ヶ沢町で農業が一番盛んな地区です。同じ場所に同じ作物を続けて植えると、生育が悪くなることがあります。鳴沢地区の一部の畑では、それを防ぐため、前年にジャガイモを植えた畑に菜の花を植えています。そのため、春になると一面の菜の花畑が楽しめます。また、町内の果樹園のほとんどが鳴沢地区に集中していて、主にりんごが生産されています。

鳴沢地区の日本海沿いには、七里長浜公園と津軽港があります。津軽港は、日本海北部の新たな経済の交流拠点「七里長浜港」として整備されました。津軽港に名前が変わったのは、2019(令和元)年のことです。

鳴沢地区は、鰺ヶ沢町内で最も農地が広い地区です。さらに畜産業を営む2つの牧場があります。畜産が行われているのは、町内では鳴沢地区だけです。鳴沢地区は農業と畜産業が盛んな地区といえます。また、津軽地域の物流の拠点として大切な津軽港がある地区です。



津軽港



菜の花畑

# 中村地区と鳴沢地区の特色を覚えましょう

岩木山のふもとにある中村地区には、岩木山に登る登山道の入口があるんだ。岩木山神社にお参りに行く人は、この登山道を通っていたんだ。地形をいかした棚田の風景も中村地区の特色の一つだね。



鳴沢地区は、鰺ヶ沢町で一番農業が盛んな地区なんだ。春、りんごの花や菜の花を楽しめるのも、鳴沢地区の特色だよ。そして、町内で畜産業が営まれているのは鳴沢地区だけ。津軽港は津軽地域にとって、大切な役割を果たす港なんだよ。

# 1 (). 町民の目標と歌



だが さかまち 鰺ヶ沢町に住むみん ながめざす、共通の 目標があるんだね!

鰺ヶ沢町の歌がある んだって。みんな知 ってる?

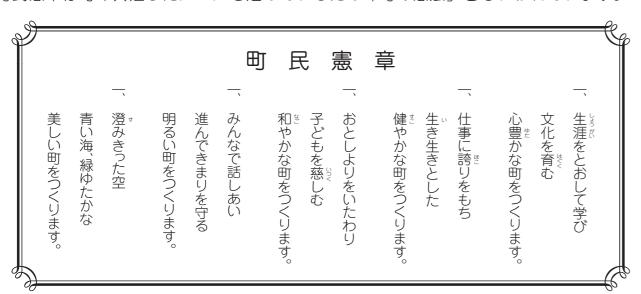


### (1) 町民憲章

町民憲章とは、町民一人ひとりがふるさとを愛し、明るく住みやすい町をつくるための道しるべや基本となる考え方です。また、町が一体となって未来に向けて力強く前進していくための共通の目標でもあります。1889(明治22)年に発足した鰺ヶ沢町は、1979(昭和54)年に90周年をむかえました。この特別な年に完成したのが鰺ヶ沢町民憲章です。町民憲章には、鰺ヶ沢町が未来に向けて大きく発展してほしいという願いがこめられています。また、町と町民が協力してより良い町にしていくための目標を定めています。

町民憲章は、前文と5つの本文からなります。前文にはまず、鰺ヶ沢町の良いところを2つ記しています。一つは、鰺ヶ沢町が山と海の自然にあふれた町であること。二つ目は、津軽の始まりの地であることです。そして、鰺ヶ沢町に生まれたことに自信をもって、伝統を大切にしながら大いに活躍することを願っています。本文では、町の目標を5つ記しています。

進むべき方向や理想を定めた町民憲章は鰺ヶ沢町の土台であり、町民の心の支えです。 町民憲章は町の共通したルールを定めているため「町の憲法」ともいわれています。



# (2) 町民歌

町民歌とは、町の魅力をイメージしたり、町民が一つにまとまるために作詞・作曲した歌のことです。 1889 (明治22) 年に発足した鰺ヶ沢町は、90周年を記念して1979 (昭和54) 年4月1日に町民歌を定めました。

鰺ヶ沢町民歌の一番で歌っているのは、古くから港町として栄えてきた歴史と美しい自然です。二番では、町民の決意を歌っています。それは、古いものを大切にすることで新しい文化をつくっていくこと。そして、住みやすく豊かな町づくりに努力していくことです。三番の歌詞の意味は、未来への希望です。みんながお互いにはげましあい、力をあわせて大きく羽ばたいていこうと歌っているのです。

清らかで美しい鰺ヶ沢町の自然。町民が心を一つにして夢と希望にあふれる町をつくっていこうという力強い思い。それを歌ったのが、鰺ヶ沢町民歌です。

## 町民歌

作詞 鎌田純一 作曲 小倉尚継

岩 並 本 木 き み TH: 大きく伸びん な 緒‡ み寄る山は青みたり かみ 裾野もひろびろと 0 さ との幸うけて 遠く き港 ああ鰺 ⊞T ‡ き ょ ケ沢



# 町民憲章と町民歌を覚えましょう

町民憲章も町民歌も、言葉やいい方は違うけれど、同じことが 書かれているね。それは、「鰺ヶ沢町がいい町になる」ことへの 願いなんだ。鰺ヶ沢町にはきれいな自然と長い歴史がある。お互 いに思いやり、手を取りあって、もっとみんなが住みやすい町にしよう。そして、 未来の鰺ヶ沢町に生まれた子どもたちが、生まれて良かったと思える町にしてい こう。それが、町民みんなの目標なんだね。

24 第1章 町のすがた 10. 町民の目標と歌

# 1 1 . 町のシンボル



鰺ヶ沢町のシンボル となる花や木、鳥が 何か知ってる?



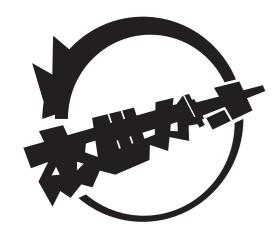
# (1) 町章

それぞれの学校に校章があるように、それぞれの市や町、村にもトレードマークがあります。町のトレードマークが町章です。多くの場合、歴史や文化など地域の個性をモチーフにデザインしています。町が発足した90周年の記念につくられた鰺ヶ沢町の町章はひらがなの「あじがさわ」がモチーフです。

町章には、その地域の歴史や文化、未来に伝えたい思いなどさまざまな意味がこめられています。一つひとつ、見ていきましょう。まず、ひらがなの「あじがさわ」という5文字の中で、「わ」を丸い円でデザインしています。これは、町のみんなが心から打ちとけあって仲が良いことのイメージです。また、「あ」と「さ」が円の外に飛び出しているのは、発展していく鰺ヶ沢町を意味しています。この鰺ヶ沢町の町章は、1979(昭和54)年4月1日に定められました。

90周年をむかえた鰺ヶ沢町が、これからもますます栄えますように。みんなが仲の良い町でありますように。町章には、町民の強いきずなと未来への発展の願いがこめられています。町章は鰺ヶ沢町役場の外かべに大きくかかげられ、町のみんなを見守っています。

#### 鰺ヶ沢町の町章



### 鰺ヶ沢という地名の歯来

鰺ヶ沢町の地名の由来はいろいろな説があって定かではありません。

- (1)沢に鰺がたくさんのぼってきたから
- (2)町内にある一丁目沢周辺が、古い地図などに「アシカ沢」「あちが沢」と書かれていたから
- (3)江戸時代につくられた資料に「アチカ沢五丁」と書かれていたから

【鰺ヶ沢町史より】

#### (2) 町の花・木・鳥

市町村の花・木・鳥とは、ふるさとのイメージにふさわしい花や木、鳥のことです。 自然が豊かな鰺ヶ沢町には、まわりを見渡せば、たくさんの花や木があります。そして、 空を見上げたり、耳をすませば、さまざまな鳥がすんでいることがわかります。その中 から、1979(昭和54)年4月1日に、鰺ヶ沢町のシンボルとなる花・木・鳥が選 ばれました。

#### ●町の花「はまなす」

赤石地区から鳴沢地区の海岸沿いにまとまって生え、花の咲く 夏から秋にかけて小さな赤い実をつけます。日本海からふく強い 風にも負けずに花を咲かせる強い生命力は、素直で思いやりが深く、がまん強い鰺ヶ沢町民の心に通じます。



#### ●町の木「けやき」

古くから鰺ヶ沢町ではけやきを植えて、海からの強い風から家々を守っていて、町民にとって親しみ深い木の一つです。大地にしっかり根をおろして上へと育つ強くたくましいさまから、力強く未来へ進んでいく鰺ヶ沢町のシンボルに選ばれました。



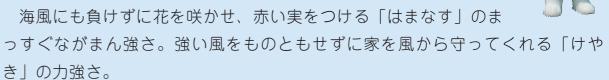
#### ●町の鳥「うぐいす」

うぐいすは「春つげ鳥」と呼ばれ、ホーホケキョという鳴き声で春になることを教えてくれます。寒く長い冬が終わり、ようやく訪れる春に雪国に住む人々が心から喜ぶように、うぐいすもまた、町民に希望をくれるシンボルといえます。



## ♥ 町の花・木・鳥を覚えましょう

鰺ヶ沢町には、1979 (昭和54)年に定められた2つのシンボルがあるんだね。一つは町のトレードマークとなる町章、もう一つが町の花・木・鳥。身近にあり、みんなに親しまれているからこそ、鰺ヶ沢町や町に暮らす人々のイメージにぴったりなんだ。



まだ雪が残る時期に鰺ヶ沢町のあちこちから聞こえてくる「うぐいす」の声がくれる春への喜び。これらの花・木・鳥には、どれもすてきな意味がこめられているんだね。